

# 令和4年度 あだちっ子歯科健診※実施結果報告書

あだちっ子歯科健診は、全ての年少児（4歳）～年長児（6歳）を対象に、「統一基準」「丁寧な受診勧奨」「結果の集計・分析・フィードバック」をセットに実施している。※ 概要はP11へ  
令和4年度の実施結果について、以下のとおり報告する。

## 令和4年度 あだちっ子歯科健診実施結果報告書・目次

1 令和4年度施設参加率と受診率	P 1
2 令和4年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】	P 3
(1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少	
(2) 未処置のむし歯がある子どもの割合は、年中児・年長児で微増	
(3) 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合(R2～R4年度比較)	
(4) 教育・保育施設におけるむし歯り患率の比較（年少児・年中児・年長児）	
3 令和5年度の主な取組	P 6
4 糖尿病対策アクションプラン—歯科口腔保健対策編—【中間見直しによる改定版】進捗状況	P 6
5 資料編	P 7

### 1 令和4年度施設参加率と受診率

(1) 教育・保育施設の参加率は、6年連続100% (図1)

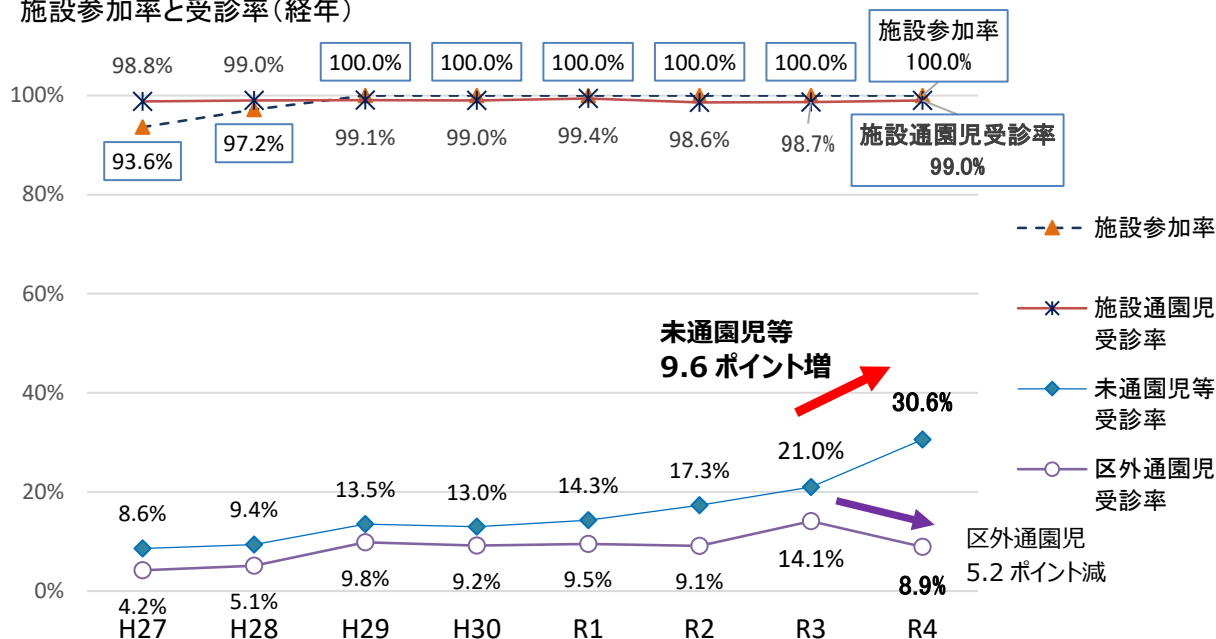
全219施設(前年度－2施設)で実施し、14,331名が受診した。

(2) 歯科健診受診率は、施設通園児が微増、未通園児等は増加している(図1)

施設通園児の受診率は99.0%(前年度+0.3ポイント増)と高水準を維持している。

家庭保育又は認可外保育施設(認証保育所を除く)、企業主導型保育施設、児童発達支援センター等や区外の教育・保育施設に通っている子ども(以下、「未通園児等」という)のうち、区外通園児を除く受診率は、3か所の認可外保育施設に歯科医師が赴いて歯科健診を実施したことにより、前年度より9.6ポイント増加し、30.6%となった。

(図1) 施設参加率と受診率(経年)



### (3) 未通園児等の受診率

#### ア 認可外保育施設における取組の成果

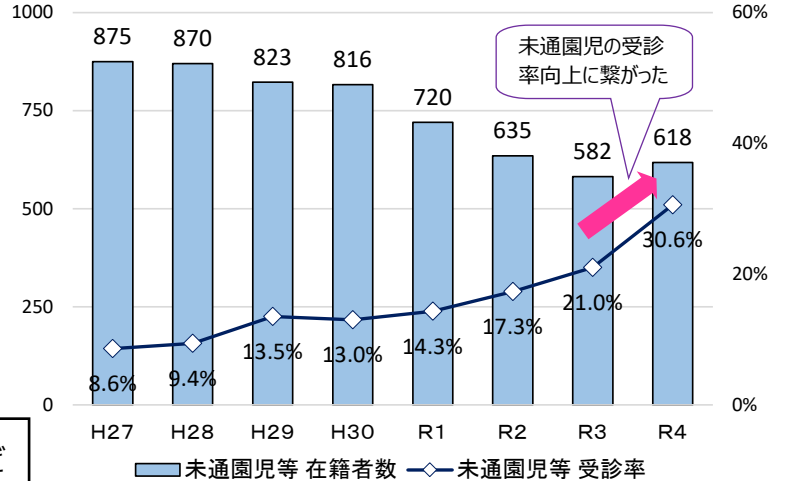
10名以上が通所する認可外保育施設3園と連携し、歯科医師が赴いて歯科健診を実施した結果、受診率97.3%と教育・保育施設の99.0%と同水準となり、結果として未通園児等全体の受診率向上に繋がった。

(表1) 認可外保育施設(3園)の実施状況

在籍者数		受診者数	受診率
年少(4歳)	28	28	100%
年中(5歳)	44	42	95.5%
年長(6歳)	38	37	97.4%
<b>合計</b>	<b>110</b>	<b>107</b>	<b>97.3%</b>

認可外保育施設(3園)に通所している子どもの受診率は**97.3%**と、教育・保育施設の歯科健診と同水準であった。

(図2) 未通園児等の対象者数と受診率の推移



#### イ アを除く未通園児等及び区外通園児の受診率

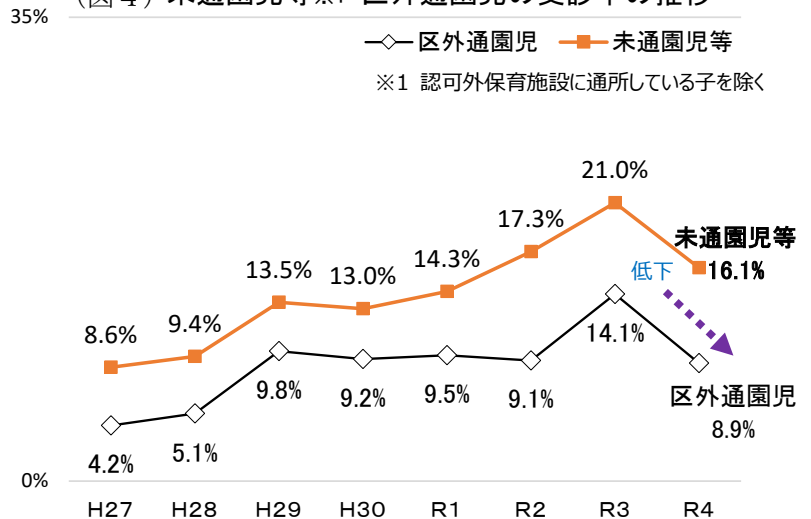
従来の「個別に受診券を送付する方法」による歯科健診受診率は、未通園児等・区外通園児ともに低下している。

(図3)

アの認可外保育施設に通所している子どもを除く対象者に、**9月中旬頃通知発送**



(図4) 未通園児等※1・区外通園児の受診率の推移



#### 令和4年度の受診勧奨の取組

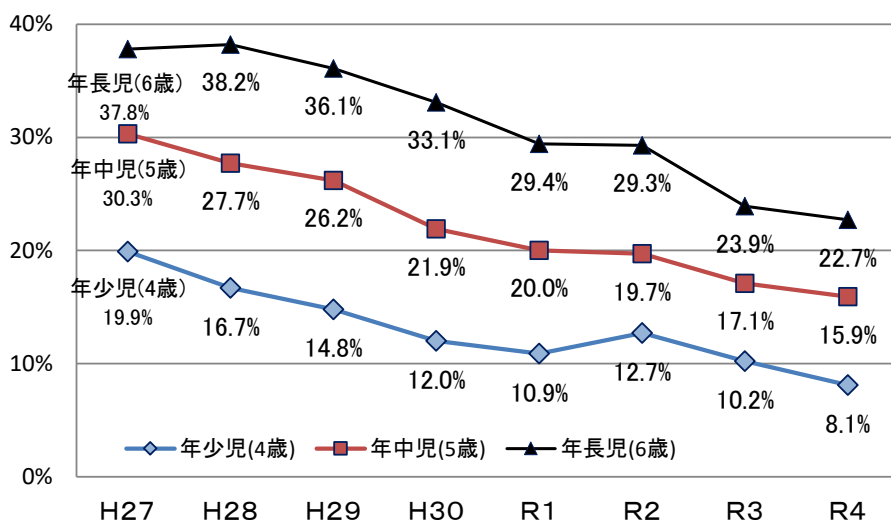
- ・ 関係機関(福祉事務所、企業主導型保育施設、児童発達支援センター等)を通じて、チラシを配付
- ・ 健診開始前及び健診終了1か月前にハガキを送付
- ・ NPO(子育て支援関連)に周知の協力を依頼

## 2 令和4年度あだちっ子歯科健診結果【主な結果】

### (1) 乳歯にむし歯がある子どもの割合は、前年度より減少

事業開始当初(H27年度)からみると、年長児(6歳)は15.1ポイント、年中児(5歳)は14.4ポイント、年少児(4歳)は11.8ポイントと大きく減少している。

(図5) 乳歯にむし歯がある子どもの割合(むし歯がある子どもの割合は、処置歯も含む)



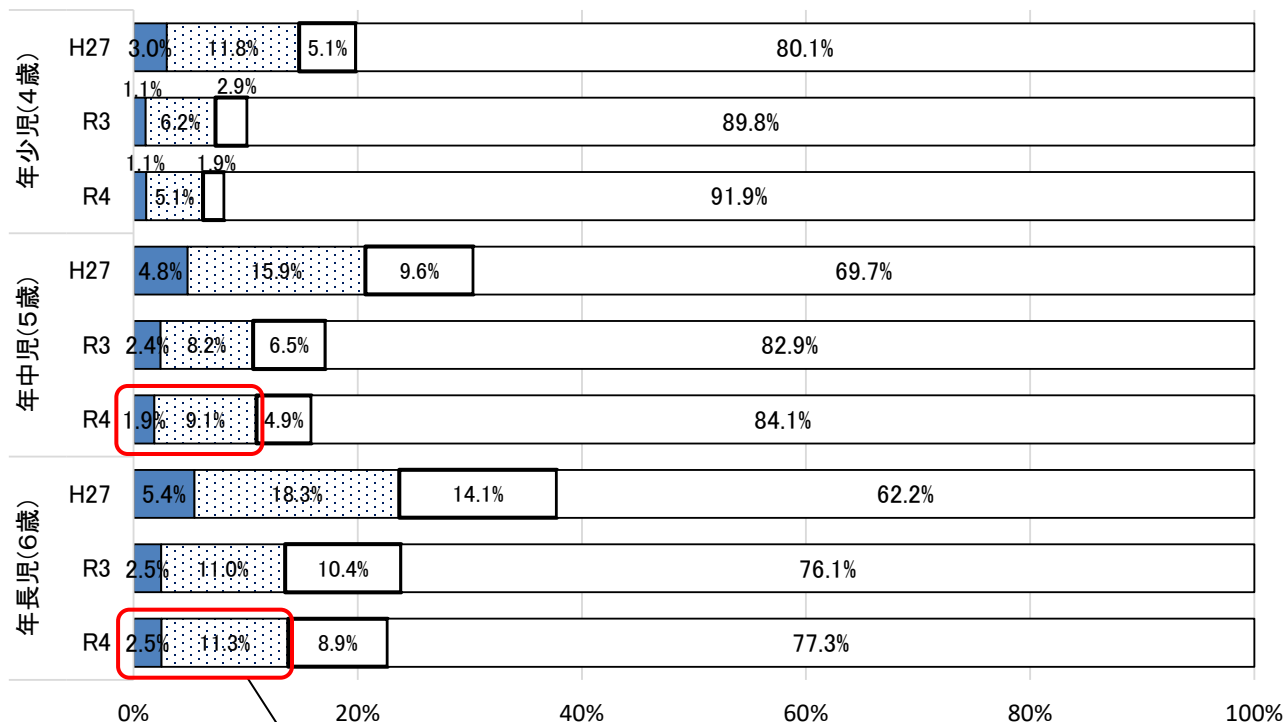
※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため秋に歯科健診を実施

### (2) 未処置のむし歯がある子どもの割合は、年中児・年長児で微増

未処置のむし歯がある子どもの割合は、年中児・年長児で前年度より微増となっている。また、未処置のむし歯が5本以上ある子どもの割合は、平成27年度からは半減しているが、前年度との比較では、年少児・年長児は横ばいとなっている。

(図6) 未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R3・R4年度比)

■5本以上 □1~4本 □0本(すべて処置済み) □むし歯なし

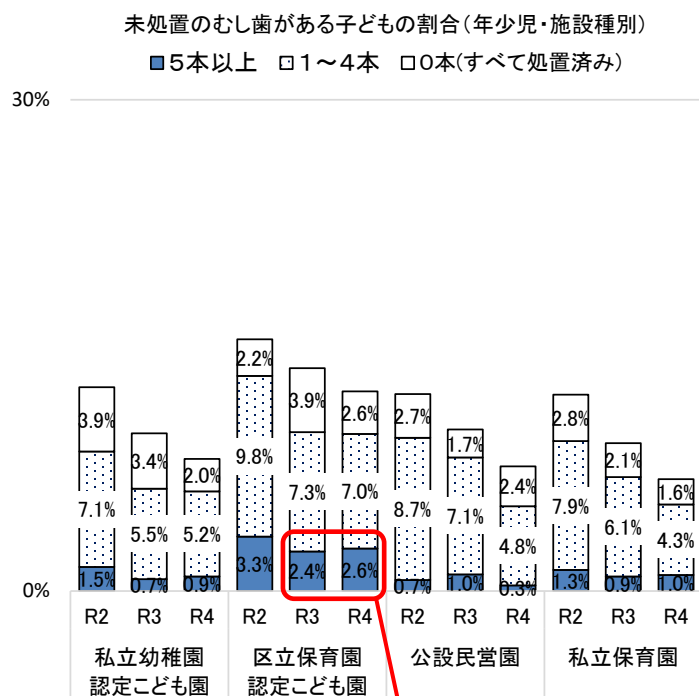


「未処置のむし歯がある子」の割合は、年中児・年長児で前年度より微増となっている。

### (3) 施設種別 未処置のむし歯がある子どもの割合 (R2、R3、R4 年度比較)

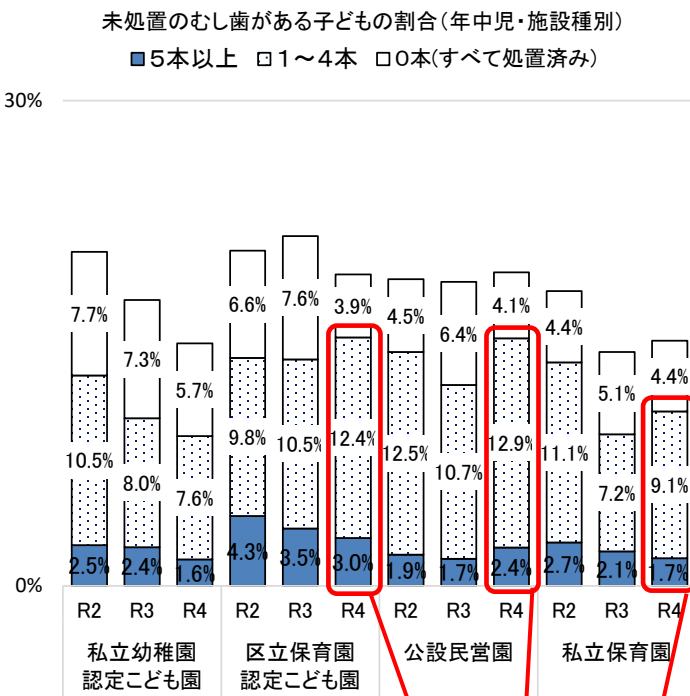
「未処置のむし歯がある子どもの割合」の年次推移を施設種別にみると、私立幼稚園を除き、増加に転じている状況がある。新型コロナウイルス感染症による家庭並びに教育・保育施設の取組みへの影響等を踏まえ、対策を検討していく必要がある。

(図7) 年少児 (4歳)



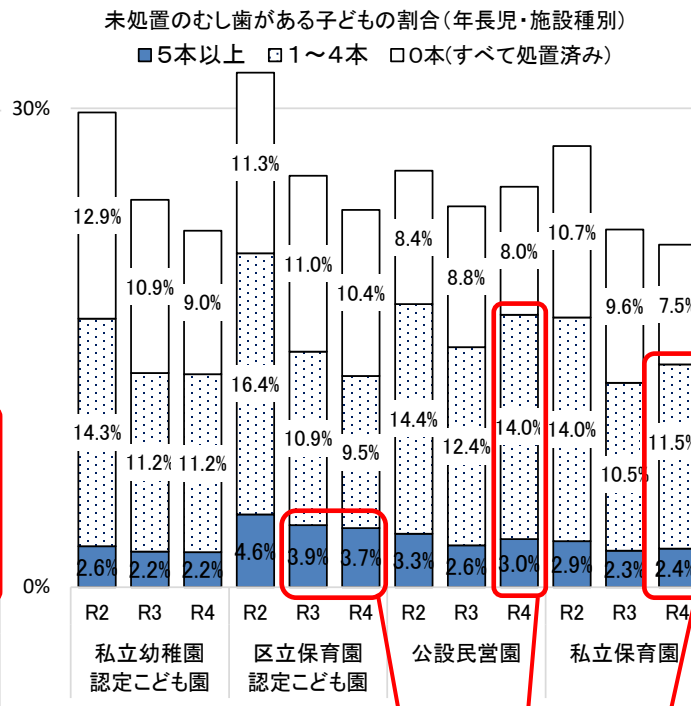
年少児  
5本以上未処置のむし歯がある子の割合  
区立園は、**0.2ポイント増加**

(図8) 年中児 (5歳)



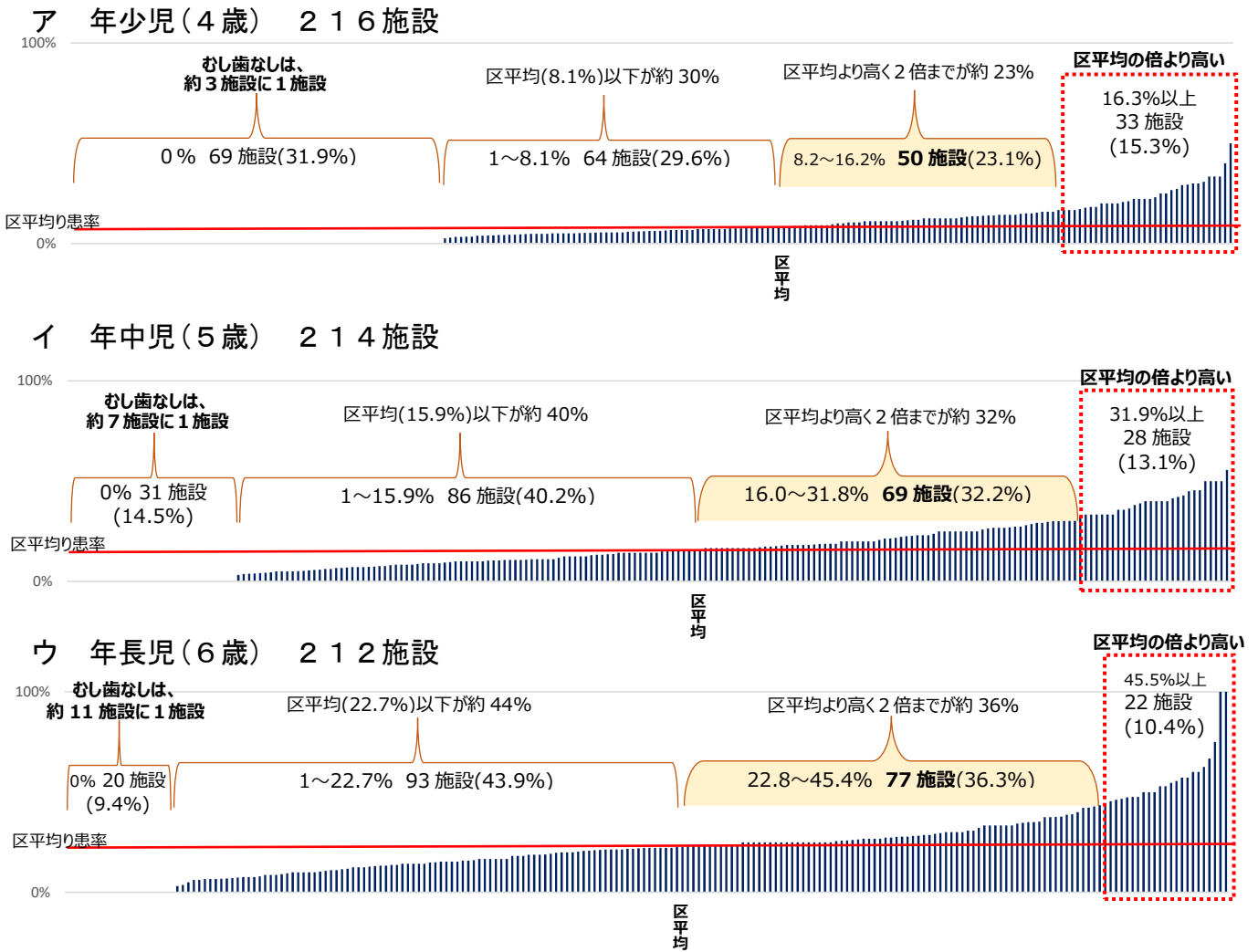
年中児  
未処置のむし歯がある子の割合  
区立園・公設民営園・私立保育園  
は増加している。

(図9) 年長児 (6歳)



年長児  
未処置のむし歯がある子の割合  
公設民営園、私立保育園は増加している。  
区立園は、5本以上未処置のむし歯がある  
子の割合が依然として高い。

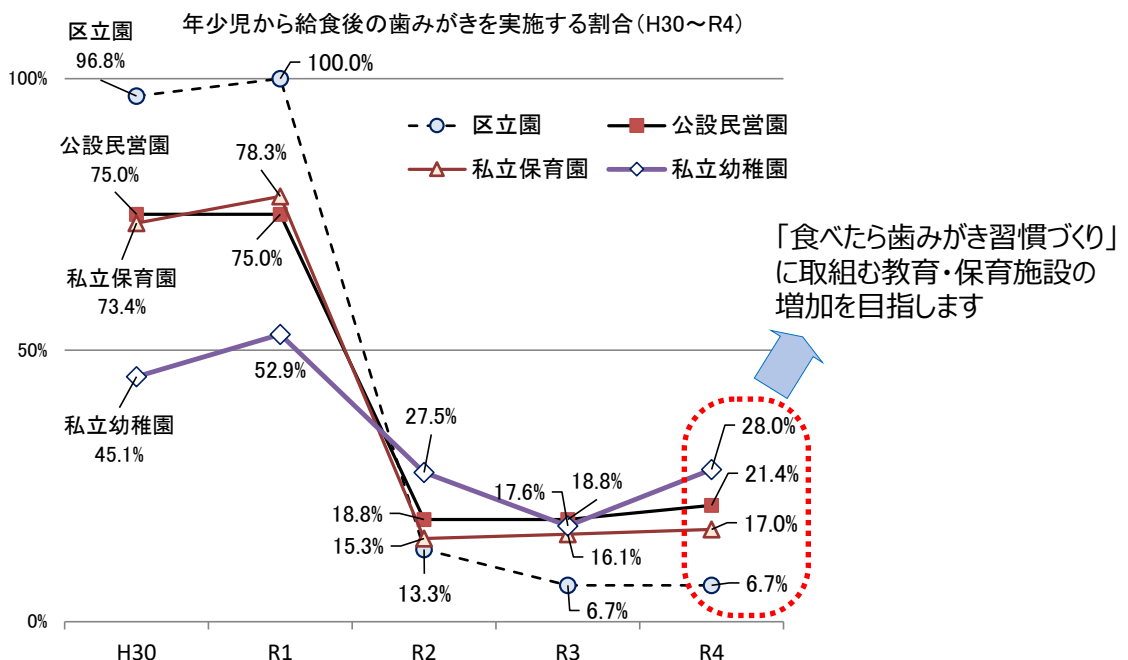
(4) 令和4年度 教育・保育施設におけるむし歯り患率(処置済のむし歯を含む)の比較 (図10)



ア~ウすべてが区平均を上回っている施設は32施設だった。

【参考】年少児から給食後の歯みがきをする教育・保育施設の割合 (図11)

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降大幅に減少している。



糖尿病対策アクションプラン「歯科口腔保健対策編—中間見直しによる改定版—」実績報告より

### 3 令和5年度の主な取組【子ども家庭部、衛生部が連携して取り組む】

#### (1) 歯科健診データを活用した「子どもの歯の健康づくり」の推進

##### ア 区立保育園・認定こども園への支援を強化【子ども家庭部】

(ア) 令和4年度歯科健診データを基に、未処置のむし歯がある子どもの割合が高い施設を優先に啓発を強化し、子どものむし歯予防を推進する。

(イ) 「あだちっ子・園歯科医」のモデル事業を区立保育園3園で開始し、歯科健診に加えて、歯科保健指導・相談・職員研修の実施等、保育園・足立区歯科医師会・子ども家庭部が連携して、子どもの歯の健康課題を解決する仕組みを構築する。

##### イ 給食後の歯みがき習慣づくり支援【子ども家庭部】

新型コロナウイルス感染症の影響により、給食後の歯みがきを中止していた施設が安全に再開できるよう支援をし、年少児（4歳）からの歯みがき習慣の定着を図る。

##### ウ 最初に生える永久歯の奥歯「6歳臼歯」のむし歯予防を強化【衛生部】

(ア) 指定歯科医療機関でフッ化物塗布が受けられる「6歳児対象 フッ化物塗布事業」を開始し、健全な6歳臼歯の育成並びに定期管理の推進を図る（8月開始予定）。

(イ) 保健センター歯科衛生士による年長児対象「6歳臼歯健康教室」実施後、園と連携して「チャレンジカード」を活用した歯みがき・仕上げみがきの習慣づくりに取り組む。

#### (2) 未通園児の健診受診の推進【子ども家庭部】

未通園児の通う認可外保育施設3園と連携し、歯科医師が赴いて歯科健診を実施した結果、受診率97%となったため、今年度さらに1園追加し、確実な受診へと繋げていく。加えて、児童発達支援センター等での実施に向けた検討を進めていく。

また、引き続き、区サービス利用者に対する関係機関からの積極的な働きかけや、ハガキ等での受診勧奨を実施する。

### 4 「糖尿病対策アクションプラン-歯科口腔保健対策編-【中間見直しによる改定版】」進捗状況

あだちっ子歯科健診に関連する実績値及び目標値は、下記のとおりである。むし歯がない子どもの割合(年長児)は1.2ポイント増加し、目標値を大きく上回っている。

(表2)

		28年度実績 中間実績値	3年度実績 (2021年度)	令和4年度実績 (2022年度)	R5年度 目標値
① あだちっ子 歯科健診 (4～6歳児) の受診率を 向上させる	私立幼稚園・認定こども園	98.7%	98.4%	98.6%	100%
	区立保育園・認定こども園	99.1%	98.9%	99.0%	100%
	公設民営園	99.0%	99.2%	99.6%	100%
	私立保育園	99.7%	99.1%	99.3%	100%
	認証保育所	98.5%	100%	99.3%	100%
	未通園児等	7.7%	18.4%	23.5%	15%
② 受診(治療) 報告書提出率	私立幼稚園・認定こども園	49%	62.5%	62.3%	60%
	区立保育園・認定こども園	62%	70.3%	75.3%	75%
	公設民営園	61%	78.9%	73.9%	75%
	私立保育園	68%	77.2%	78.9%	75%
	認証保育所	70%	77.5%	83.8%	75%
	未通園児等	50%	58.7%	66.7%	60%
③ むし歯がない子どもの 割合	年長児	61.8%	76.1%	77.3%	70%
	小学1年生	59.8%	67.3%	72.4%	65%
④ 5本以上未処置のむし歯がある子どもの 割合(年長児)		5.1%	2.5%	2.5%	3%

# －資料編－

## 1 令和4年度あだちっ子歯科健診の実施結果

### (1) 参加状況及び実施時期

区内の教育・保育施設に通っていない子ども（以下、「未通園児等」という）に個別に通知を発送している。令和4年度から、未通園児の受診率向上策として、認可外保育施設3園で歯科健診を開始した。

(表3)

	施設数	参加数	参加率 (R3年度)	実施時期	備考
私立幼稚園 認定こども園	50	50	<b>100%</b> (100%)	令和4年5月～7月	
区立保育園 認定こども園	30	30	<b>100%</b> (100%)		
公設民営園	15	15	<b>100%</b> (100%)		
私立保育園	111	111	<b>100%</b> (100%)		
認証保育所	13	13	<b>100%</b> (100%)		年少児以上が在籍する施設
未通園児等	R4.9.1を基準日とし対象者を抽出			令和4年9月～11月	個別通知による歯科健診の勧奨
	認可外保育施設(3園)通所児			令和4年5月～7月	R4年度開始

### (2) 受診状況【各施設からの集計報告による実績値】

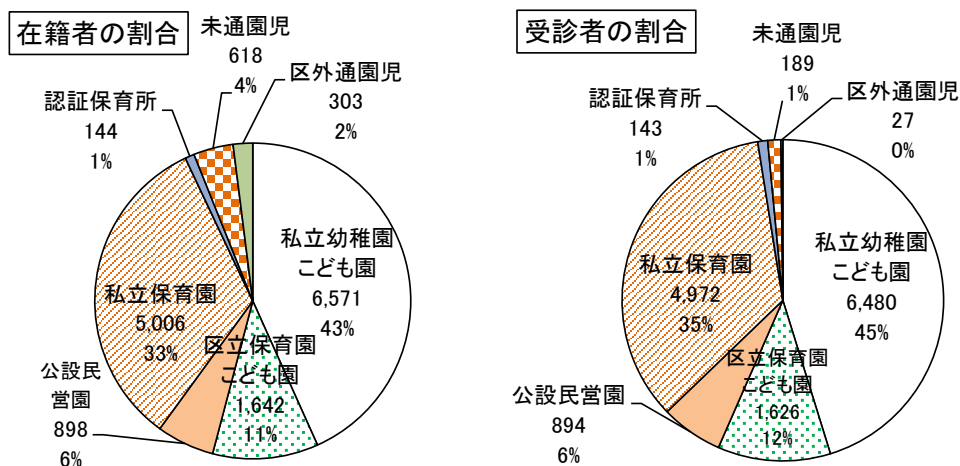
(表4)

※ 在籍者は、区外在住者を含む。未通園児等の在籍者は、対象者数を記載

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)			
	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者	受診者	在籍者 (R3年度)	受診者 (R3年度)	受診率 (R3年度)	
私立幼稚園 認定こども園	1,981	1,947	2,195	2,162	2,395	2,371	6,571 (7,200)	6,480 (7,084)	<b>98.6%</b> (98.4%)	
区立保育園 認定こども園	513	509	548	543	581	574	1,642 (1,747)	1,626 (1,728)	<b>99.0%</b> (98.9%)	
公設民営園	296	295	296	295	306	304	898 (911)	894 (904)	<b>99.6%</b> (99.2%)	
私立保育園	1,770	1,759	1,675	1,662	1,561	1,551	5,006 (4,875)	4,972 (4,831)	<b>99.3%</b> (99.1%)	
認証保育所	66	65	50	50	28	28	144 (143)	143 (143)	<b>99.3%</b> (100%)	
未通園児等	未通園児	238	68	194	60	186	61	618 (582)	189 (122)	<b>30.6%</b> (21.0%)
	(再掲)認可外 保育施設通所	28	28	44	42	38	37	110	107	<b>97.3%</b>
	区外通園児	88	11	105	8	110	8	303 (334)	27 (47)	<b>8.9%</b> (14.1%)
<b>合計</b> (R3年度)	<b>4,952</b> (5,112)	<b>4,654</b> (4,796)	<b>5,063</b> (5,209)	<b>4,780</b> (4,887)	<b>5,167</b> (5,471)	<b>4,897</b> (5,176)	<b>15,182</b> (15,792)	<b>14,331</b> (14,859)		
<b>受診率</b> (R3年度)	<b>94.0%</b> (93.8%)		<b>94.4%</b> (93.8%)		<b>94.8%</b> (94.6%)		<b>94.4%</b> (94.1%)			

受診者の割合は、私立幼稚園が45%と最も多く、次いで私立保育園が35%と多くなっている。

（図12）在籍者、受診者の割合



（3）未通園児等（認可外保育施設通所児を除く）の未受診理由

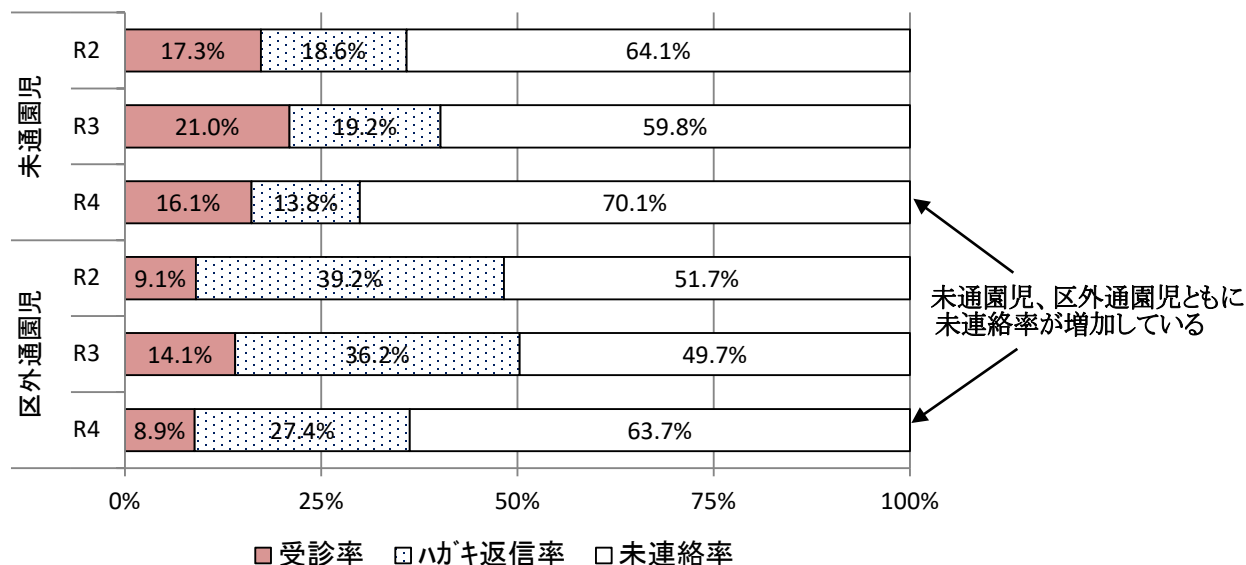
歯科健診の個別通知にアンケートハガキを同封し、健診を希望しない理由等を調査している。令和4年度は、未通園児の13.8%、区外通園児の27.4%から返信があった。

希望しない理由（複数回答可）は、「歯科医院に通院中又は定期チェックを受けている」「通っている施設で受けた」の順に多くなっている。

（表5）

	対象者 (R3年度)	歯科健診受診		未受診			
		受診者 (R3年度)	受診率 (R3年度)	希望しないハガキ		未連絡	
				返信数 (R3年度)	返信率 (R3年度)	人数 (R3年度)	割合 (R3年度)
未通園児 (認可外を除く)	508 (582)	82 (122)	16.1 (21.0%)	70 (112)	13.8% (19.2%)	356 (348)	70.1% (59.8%)
区外通園児	303 (334)	27 (47)	8.9% (14.1%)	83 (121)	27.4% (36.2%)	193 (166)	63.7% (49.7%)
合計	811 (916)	109 (169)	13.4% (18.4%)	153 (233)	18.9% (25.4%)	549 (514)	67.7% (56.1%)

（図13）歯科健診を希望しない割合（ハガキ返信率）





(4) 「足立区保健衛生システム」登録数

受診者のうち、区内在住児の結果を「足立区保健衛生システム」に登録し、分析を行った。システム登録者数は13,625名で、全受診者の95.1%であった。

(表6) ※ 受診者には区外在住児もいるため、受診者数と登録者数は一致していない。

	年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		システム登録人数合計	
	受診者 (R3年度)	登録者 (R3年度)	受診者 (R3年度)	登録者 (R3年度)	受診者 (R3年度)	登録者 (R3年度)	受診者 (R3年度)	登録者 (R3年度)
人数	4,654 (4,796)	4,444 (4,575)	4,780 (4,887)	4,547 (4,633)	4,897 (5,176)	4,634 (4,920)	14,331 (14,859)	13,625 (14,128)
登録率	<b>95.5%</b> (95.4%)		<b>95.1%</b> (94.8%)		<b>94.6%</b> (95.1%)		<b>95.1%</b> (95.1%)	

(5) 歯科健診分析結果（足立区保健衛生システムに登録した子どもの歯科健診結果）

ア 乳歯にむし歯がある子どもの割合（年齢別）

令和4年度の結果、乳歯にむし歯がある子どもの割合は、全年齢で減少した。

(表7) むし歯がある子どもの割合

	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率	受診者	むし歯有	有病率
平成27年度	4,829	959	<b>19.9%</b>	4,856	1,473	<b>30.3%</b>	5,014	1,894	<b>37.8%</b>
平成28年度	4,925	823	<b>16.7%</b>	5,086	1,408	<b>27.7%</b>	4,983	1,903	<b>38.2%</b>
平成29年度	4,868	719	<b>14.8%</b>	5,058	1,324	<b>26.2%</b>	5,134	1,854	<b>36.1%</b>
平成30年度	4,945	591	<b>12.0%</b>	4,926	1,080	<b>21.9%</b>	5,057	1,672	<b>33.1%</b>
令和元年度	4,922	536	<b>10.9%</b>	5,004	1,001	<b>20.0%</b>	4,939	1,453	<b>29.4%</b>
令和2年度	4,606	587	<b>12.7%</b>	4,896	965	<b>19.7%</b>	4,981	1,457	<b>29.3%</b>
令和3年度	4,575	465	<b>10.2%</b>	4,633	794	<b>17.1%</b>	4,920	1,175	<b>23.9%</b>
<b>令和4年度</b>	<b>4,444</b>	<b>360</b>	<b>8.1%</b>	<b>4,547</b>	<b>722</b>	<b>15.9%</b>	<b>4,634</b>	<b>1,051</b>	<b>22.7%</b>

イ 乳歯にむし歯がある子どもの割合（施設種別）

施設間の差は、年少児が5.4ポイント、年中児4.4ポイント、年長児3.6ポイントとなっている。※ 認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

(表8)

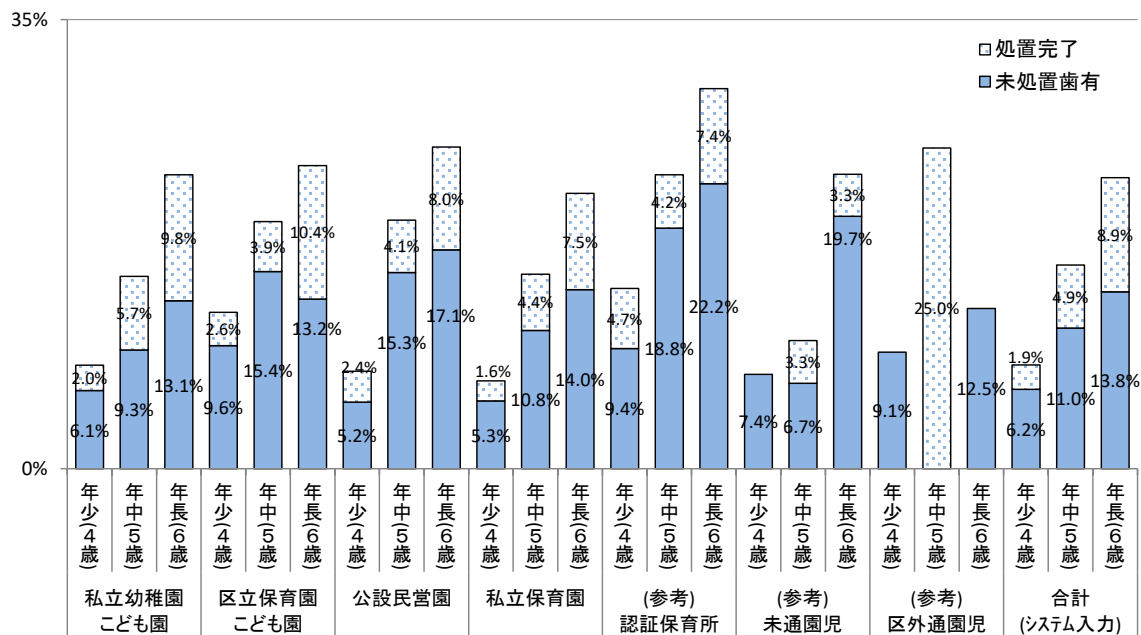
	年少児(4歳)			年中児(5歳)			年長児(6歳)		
	受診者	むし歯有	有病率 (R3年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R3年度)	受診者	むし歯有	有病率 (R3年度)
私立幼稚園 認定こども園	1,773	143	<b>8.1%</b> (9.6%)	1,955	293	<b>15.0%</b> (17.7%)	2,139	490	<b>22.9%</b> (24.3%)
区立保育園 認定こども園	500	61	<b>12.2%</b> (13.6%)	540	104	<b>19.3%</b> (21.6%)	567	134	<b>23.6%</b> (25.8%)
公設民営園	289	22	<b>7.6%</b> (9.9%)	294	57	<b>19.4%</b> (18.8%)	299	75	<b>25.1%</b> (23.9%)
私立保育園	1,739	119	<b>6.8%</b> (9.0%)	1,642	249	<b>15.2%</b> (14.5%)	1,533	329	<b>21.5%</b> (22.4%)
(参考)認証保育所	64	9	<b>14.1%</b> (18.8%)	48	11	<b>22.9%</b> (18.9%)	27	8	<b>29.6%</b> (16.2%)
(参考)未通園児	68	5	<b>7.4%</b> (18.5%)	60	6	<b>10.0%</b> (14.3%)	61	14	<b>23.0%</b> (33.3%)
(参考)区外通園児	11	1	<b>9.1%</b> (23.1%)	8	2	<b>25.0%</b> (15.8%)	8	1	<b>12.5%</b> (40.0%)
<b>合計</b> (R3年度)	<b>4,444</b> (4,575)	<b>360</b> (465)	<b>8.1%</b> (10.2%)	<b>4,547</b> (4,633)	<b>722</b> (794)	<b>15.9%</b> (17.1%)	<b>4,634</b> (4,920)	<b>1,051</b> (1,175)	<b>22.7%</b> (23.9%)

ウ むし歯がある子どもにおける未処置歯保有・処置完了の割合（年齢別・施設種別）

すべての年齢で、未処置のむし歯を有する子の割合が処置完了者を上回っている。

※ 認証保育所・未通園児等はサンプル数が少ないため参考値とする（合計は含む）。

（図14）施設種別等 むし歯がある子どもの割合（未処置歯有、処置完了者の割合）

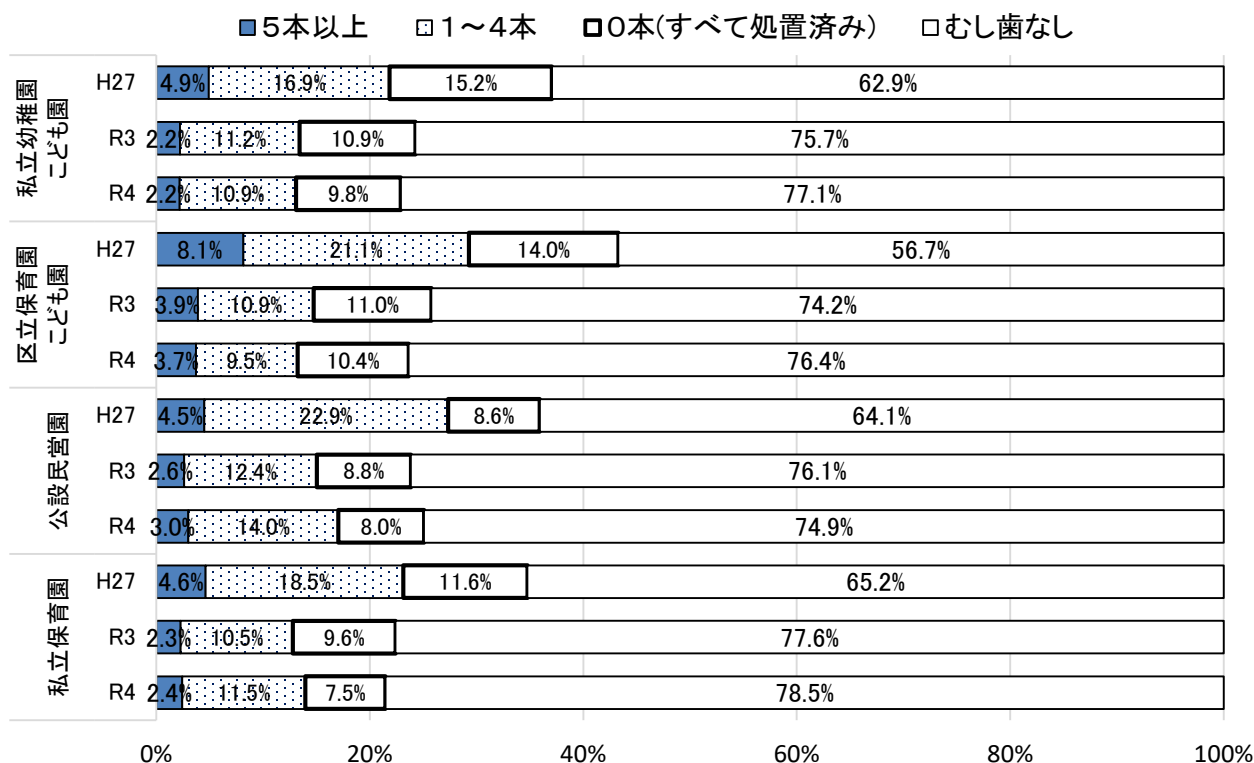


【参考】 3年度(合計)	処置完了率	年少	2.9%	年中	6.5%	年長	10.4%
	未処置歯保有率	年少	7.3%	年中	10.7%	年長	13.5%

エ 施設種別・乳歯に5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合

5本以上未処置のむし歯をもつ年長児の割合は、公設民営園、私立保育園で増加している。

（図15）【年長】施設種別・5本以上未処置のむし歯がある子どもの割合(H27・R3・R4年度比)



## オ 受診報告書の提出状況【施設からの集計報告による実績値】

歯科健診後に、治療・相談が必要な子ども(※1)に対し、保護者が歯科医療機関を受診した結果が、教育・保育施設より受診報告書として提出されている(※2)。

なお、未通園児等の受診報告は、保護者から区に直接ハガキで報告する方法を採用している(※3)。

令和4年度における受診報告書の提出率の平均は70.2%で、3年度と比べて1.1ポイント増加した。

※1 未処置のむし歯(C)及びむし歯になりそうな歯(CO)がある、又は歯肉、歯垢、かみ合わせで治療・相談が必要な子ども

※2 概ね歯科健診から2か月程度経過した時点での報告率

※3 未通園児等は、サンプル数が少ないため、参考値とする(合計には含む)。

(表9)

		年少児(4歳)		年中児(5歳)		年長児(6歳)		合計(人数)		
		発行数	報告数	発行数	報告数	発行数	報告数	発行数 (R3年度)	報告数 (R3年度)	報告率 (R3年度)
私立幼稚園 認定こども園		322	201	439	270	608	382	1369 (1,650)	853 (1,032)	62.3% (62.5%)
区立保育園 認定こども園		96	71	129	96	159	122	384 (391)	289 (275)	75.3% (70.3%)
公設民営園		52	37	85	64	97	72	234 (218)	173 (172)	73.9% (78.9%)
私立保育園		251	201	331	262	375	292	957 (1,018)	755 (786)	78.9% (77.2%)
認証保育所		13	10	17	16	7	5	37 (40)	31 (31)	83.8% (77.5%)
未通 園児 等	未通園児	11	4	6	3	13	9	30 (34)	16 (23)	53.3% (67.6%)
	区外通園児	3	2	4	1	2	1	9 (12)	4 (4)	44.4% (33.3%)
合計 (R3年度)		748 (880)	526 (607)	1,011 (1,071)	712 (719)	1,261 (1,412)	883 (997)	3,020 (3,363)	2,121 (2,323)	
報告率 (R3年度)		70.3% (69.0%)		70.4% (67.1%)		70.0% (70.6%)		70.2% (69.1%)		

## 2 あだちっ子歯科健診の概要

### (1) 目的

「足立区糖尿病対策アクションプランー歯科口腔保健対策編ー」の一環として、むし歯が増えやすい年少児(4歳)から年長児(6歳)を対象に、(公社)東京都足立区歯科医師会、各保育施設、認定こども園、私立幼稚園等が連携・協調しながら、①統一基準の歯科健診、②丁寧な受診勧奨、③集計・分析・フィードバックをセットにした「あだちっ子歯科健診」を実施し、むし歯予防および早期の治療に繋がる取組を進めている。

#### 【あだちっ子歯科健診のポイント】

- ① 統一基準(帳票、健診基準等)の歯科健診を実施
- ② 健診後、歯科受診が必要な子どもの保護者に丁寧な受診勧奨を実施
- ③ 歯科健診結果の集計・分析・フィードバック

(2) 対象者

通園の有無に関わらず、年少児(4歳)から年長児(6歳)、全ての幼児

※ 区内の保育施設、認定こども園、私立幼稚園においては、在籍する区外在住者も含めて実施

(3) 実施方法及び今後の目標

ア 統一基準の歯科健診

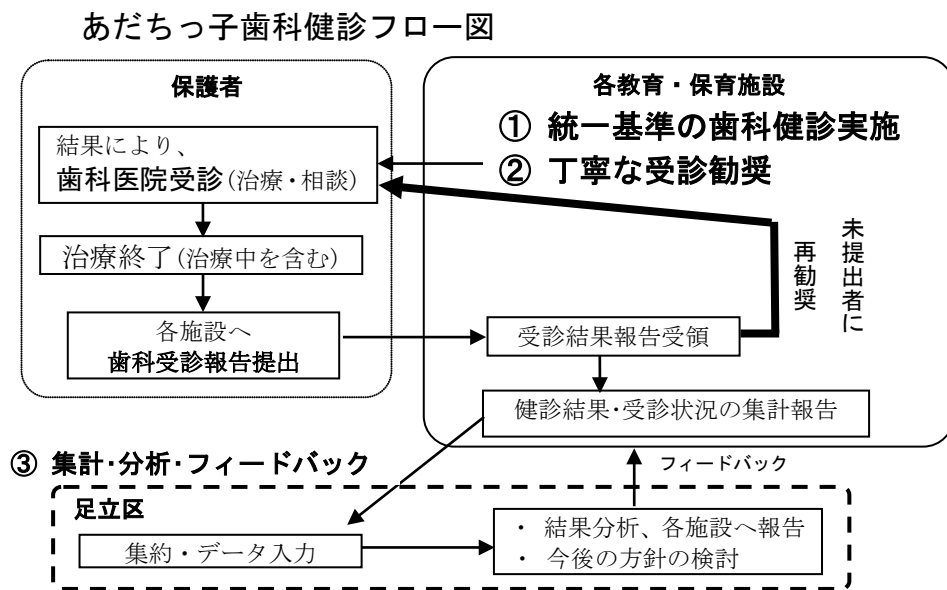
足立区歯科医師会に委託(区立認定こども園のみ嘱託医)し、施設及び会員歯科診療所で歯科健診を実施する。足立区歯科医師会の協力のもと、施設内健診、会員診療所での未受診者健診等を行い、受診率向上を目指している。

イ 受診勧奨

各保育施設・認定こども園・私立幼稚園の協力のもと、保護者への丁寧な受診勧奨と受診報告書の確認をすることで、未治療の子どもを減らしていく。

ウ 結果集計・分析・フィードバックと役割分担

各施設から歯科健診結果報告を受け、区は個人情報 の適正な管理のもと足立区保健衛生システムに登録の上、集計・分析を行う。分析結果から、園児や保護者が望ましい生活習慣を獲得できるよう、効果的な「歯・口の健康づくりの取組」を検討・実施する。



【問合せ先】

- あだちっ子歯科健診の実施に関すること  
足立区教育委員会子ども家庭部  
子ども政策課子ども施策推進担当 03-3880-5266
- あだちっ子歯科健診の結果分析に関すること  
足立区衛生部データヘルス推進課  
多世代健康データ連携担当 03-3880-5601



区オリジナル・奥歯のはみがきキャラクター「おくぼちゃん」